

平成 29 年度

事業報告書

1. 法人事業報告書
2. 施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

平成 29 年度

法人事業報告書

社会福祉法人 恵の園

目 次

1. 平成 29 年度総括報告（1 年を振り返って）	1
2. 法人役員、評議員、運営協議会委員	4
3. 理事会開催状況	5
4. 評議員会開催状況	7
5. 運営協議会開催状況	8
6. 内部監査結果	8
7. 法人借入金償還状況	8
6. 職員人事異動状況	8
8. 職員配置状況	9
9. 施設利用者状況	9
10. 補助金による助成物件	10
<総務部> (1) 庶務・経理係	11
(2) 固定資産管理係	12
<人事部> (1) 人材育成係	13
(2) 安全衛生係	15
(3) 交通安全係	16
<その他の係> (1) 防災係	16
(2) 広報係	17
(3) 地域福祉係	18
(4) その他の公益事業	20

1. 平成 29 年度総括報告（1 年を振り返って）

（1）運営全般

- ① 「常に前進」をスローガンに掲げ、法人制度改革への対応をはじめ、新規事業（ぶどうの木、シオンの丘）の準備。エステルの事業変更及び全面建て替え工事等を押し進めた。しかし、人材の確保に困難をきわめ、常に現場における人材不足対応に追われてしまった。また、不適切な利用者支援の指摘が行政機関よりあり、調整と改善を進めた。さらに隣地地主より当方の対応の不手際に対するクレームがあり、対応に追われ、堅実な業務の遂行についての課題が明白になった一年でもあった。

（2）社会福祉法人制度改革に伴う対応をはかる

- ① 「ガバナンスの強化」「透明性の確保」「財務規律の強化」「地域の公益的な取り組み」をより具体的に実践していくことを目標に掲げたが、規定の対応を進めてきたことを維持するだけで更なる取り組みを行うことはできなかった。
- ② 「財務規律の強化」の一環として、特に「庶務経理係」の強化を目指したが、休職者や退職者が出たことで、現状の業務をこなすことで精一杯で、十分な検討までには至らなかった。

（3）福祉サービス事業の「ニーズへの対応」を進める

- ① 地域における障害のある方々の一般相談のニーズに対応するため、次年度から「ぶどうの木」に計画相談だけでなく、一般相談を受け入れられるよう準備をすすめた。また、高齢者福祉のニーズ発掘のために介護保険制度の「居宅介護支援事業シオンの丘」の開設準備も進め、どちらも平成 30 年 4 月 1 日の開所となった。
- ② 特別養護老人ホームカナンの増床計画は、年度途中で渋川市の「高齢者第 7 期計画」が打ち出されたが、公募については平成 30 年度後半とのことで、設計監理業者の選出と第一段階での図面を作成した。
- ③ 渋川市から受託している心身障害者（児）デイサービスセンター「あじさいの家」が渋川市の事業終了の意向に伴い、「あじさいの家」を利用されている方々の新たな受け皿のために、障害福祉サービス事業所エステルを就労継続支援事業 B 型と併せて新たに生活介護事業を併設した多機能事業所と事業変更する準備をすすめた。
- ④ エステルの建物建て替えの国庫補助申請で 6 月に内示をいただき、平成 29 年 9 月に解体工事をはじめ、11 月中旬から本体工事を開始。平成 30 年 3 月 27 日に群馬県の審査を経て、同月 31 日に建築業者からの引渡が完了した。

⑤地域における福祉課題、生活課題が出されていたが、具体的に進めるまでには至らなかった。

⑥法人内の各事業の課題の洗い出しを行い対応していくこととしていたが、具体的に進めることができなかった。

(4) 人材の確保と定着、そして育成について強化していく

①「人材確保プロジェクトチーム」を立ち上げ、人材確保に重点を置いたが、チラシ等の新規作成程度で、その他の新たな手を打つまでは至らなかった。また、育成については、場当たりの研修実施に追われ、課題となっていた育成体系の再構築については、次年度への継続検討とした。

(5) 恵の園の「中期ビジョン」の策定

①直近の計画を実行することに留まってしまった。この課題についても、次年度への継続課題とした。

(6) 創立 50 周年に向け準備を進める

①管理職以上が準備委員となり、「式典」・「記念誌」・「資金獲得」・「その他」と役割分担し、日程、式典内容、記念誌の来賓挨拶、招待者の抽出等の大枠を決定することができた。

(7) 各福祉サービスの推進

①「ベテル」は、売り上げは前年比 4.6%増加したものの、平均工賃では前年より 1,431 円減少した。要因としては、製袋班の修繕費等の経費が前年比 49%増加したことが影響した。

②「グレイスホーム」は、利用者の高齢化と障害の重度化が課題となり、今後のより良質なサービスにつなげていくために群馬県福祉サービス第三者評価を受審することとした。

③「あけぼのホーム」は、不適切な支援をご家族、行政機関より指摘され、施設での対応を検証するとともに改善行動へとつなげた。次年度も継続して改善行動を進めていく。

④「めぐみの里」は、利用者の状態に応じた施設移行の検討や、待機者のニーズを確認した上で短期入所の定員減、通所事業の終了を行なった。

⑤「カナン」は、各委員会を設置し規程回数通りの会議を行なうことができるようになった。入所利用者は、年間 9 名と退所者が多く、次の入所をすすめることが間に合わない状況だった。

⑥「エステル」は、売り上げは法人内特養とクリーニング契約を締結し大幅に伸びた

が、目標であった平均工賃 12,000 円を若干下回った。

- ⑦「シャローム」は、気候等の影響により、農産物の生産・売上が前年度比約 85%、平均工賃は前年度比約 99%に留まり、目標を達成できなかった。
- ⑧「ゆうかり」は、今年度も大きな事故等なく過ごすことができた。20 名の定員に対し、利用率が平均 70%まで達した。
- ⑨「あじさいの家」は、事業廃止に向けて説明会を実施。建て替え工事期間中は「カナン」の地域交流室を借用し支援を行なった。
- ⑩「マイーム」は、一部の利用者に高齢化による身体機能の低下、健康状態の悪化などが課題となり、4 名の方が施設移行した。体験利用の制度を利用し、マイームへ 1 名の方が入居されたが定員割れの状況が長引いている。
- ⑪「さつき」は、開所はじめて、看取りケアを実施した。個別性の高いケアを実践するため介護保険に適用した記録ソフトウェアを導入した。
- ⑫「ぶどうの木」は、施設移行に関する相談件数が増え、前年比の約 5 倍であった。法人内のサービスに限らず、法人外のサービスについても利用調整をすることで、利用者に合ったサービス提供ができ、関係機関との連携も図ることができた。
- ⑬「ポパイ」は、販売利益は年間目標に到達したが、レンタルでは思うように契約数を伸ばせず目標を下回った。
- ⑭福祉の啓発誌「魁」の編集・作成・発行（3 回）を行ない、福祉の啓蒙を行なった。

(8) 施設整備関係

主に次のような施設整備を行なった。

- ・法人では、あけぼのコミュニティー教会の隣に記念碑（3,075,375 円）を建てた。
- ・ベテルでは、雨樋の修理の工事（238,464 円）と軽自動車（453,880 円中古）を購入した。
- ・グレイスホームでは、引き続き居室改修工事（2 部屋、2,268,000 円）を実施。
- ・あけぼのホームでは、館内共有部分の照明器具を LED 照明へ切り替え工事（1,504,353 円）を行なった。また、配膳室の食洗機の故障により買い換え（684,720 円）を行なった。
- ・めぐみの里では、浄化槽工事（723,060 円）、ボイラー交換工事（6,950,000 円）を実施した。
- ・エステルでは、大型洗濯機（1,447,200 円）、厨房機器（7,452,000 円）、入浴機器（4,449,600 円）を購入した。また、建て替え工事中のクリーニング作業場としてカナン駐車場に車庫（1,000,000 円）を設置し、洗濯機、乾燥機を移設（831,600 円）し、建物新築後に改めて設置（723,600 円）した。
- ・シャロームでは、トラック（1,286,280 円）を購入した。

(9) 借入金の償還

- ・グレイスホームの大型改修工事（福祉医療機構）、ダビデホーム建設（北群馬信用金庫）、クロスホーム建設（群馬銀行）の各借入金は、平成 29 年度分の償還を予定通り行なった。特別養護老人ホームカナンの建設（北群馬信用金庫・群馬銀行）借入は、利子の返済を予定通りに行なった。

2. 法人役員、評議員、運営協議会委員

(1) 役員、評議員、運営協議会委員（平成29年4月1日現在）

役職	定数	氏名
理事	7	山田雅人（理事長）、池田澄子、永田智彦、柴田敏樹 内山由紀、信澤英紀、真部暁
監事	2	澤口俊行、飯塚秀利
評議員	8	木村睦子、細井雄生、星名建市、井口千春、賤津進介、櫻井実、 島田幸治、山崎友丈
運営協議会委員	5	片野清明、福島重樹、永井廣隆、内海文雄、中澤悦二

(2) 就任・退任役員

①就任役員

	役職名	氏名	就任年月日	備考
就任	理事	山田 雅人	平成29年4月1日	平成29年6月9日退任
	〃	池田 澄子	〃	〃
	〃	永田 智彦	〃	〃
	〃	柴田 敏樹	〃	〃
	〃	内山 由紀	〃	〃
	〃	信澤 英紀	〃	〃
	〃	真部 暁	〃	〃
	監事	澤口 俊行	平成29年4月1日	平成29年6月9日退任
	〃	飯塚 秀利	〃	〃

（任期：平成28年度会計の最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

	役職名	氏名	就任年月日	備考
就任	理事	山田 雅人	平成29年6月9日	
	〃	池田 澄子	〃	
	〃	永田 智彦	〃	
	〃	柴田 敏樹	〃	
	〃	内山 由紀	〃	
	〃	信澤 英紀	〃	
	〃	真部 暁	〃	
	監事	澤口 俊行	平成29年6月9日	
	〃	飯塚 秀利	〃	

（任期：平成30年度会計の最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

②退任役員

	役職名	氏名	退任年月日	備考
退任	理事	信澤 英紀	平成30年3月31日	

(3) 就任評議員

	役職名	氏名	就任年月日	備考
就任	評議員	木村 睦子	平成 29 年 4 月 1 日	
	〃	細井 雅生	〃	
	〃	星名 建市	〃	
	〃	井口 千春	〃	
	〃	賤津 進介	〃	
	〃	櫻井 実	〃	
	〃	島田 幸治	〃	
	〃	山崎 友丈	〃	

(任期：平成 32 年度会計の最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで)

(4) 就任運営協議会委員

	役職名	氏名	就任年月日	備考
就任	運営協議会委員	片野 清明	平成 29 年 4 月 1 日	
	〃	福島 重樹	〃	
	〃	永井 廣隆	〃	
	〃	内海 文雄	〃	
	〃	中澤 悦二	〃	

(任期：平成 31 年 3 月 31 日まで)

3. 理事会開催状況

開催日	審議内容	審議結果
第 2 2 3 回 平成 29 年 5 月 20 日	第 1 号議案 平成 28 年度 事業報告 (案)	可決
	第 2 号議案 平成 28 年度 会計収支決算 (案)	可決
	第 3 号議案 社会福祉充実残高について (案)	可決
	第 4 号議案 定款の一部変更 (案)	可決
	第 5 号議案 運営規程の一部変更 (案)	可決
	・ ベテル (就労移行支援)	
	・ 〃 (就労継続支援 B 型)	
	・ エステル	
	・ シャローム	
	第 6 号議案 役員等報酬規程 (案)	可決
	第 7 号議案 新理事及び新監事の推薦 (案)	可決
	第 8 号議案 第 115 回評議員会の開催日時及び議案 (案)	可決
第 2 2 4 回 平成 29 年 6 月 9 日	第 1 号議案 理事長の選任 (案)	可決
	第 2 号議案 エステル施設整備に関する設計監理業者の選定 (案)	可決
	第 3 号議案 出納係の変更 (案)	可決
第 2 2 5 回	第 1 号議案 エステルの多機能事業への移行について	可決

平成 29 年 8 月 10 日	<p>(案)</p> <p>第 2 号議案 あじさいの家の委託事業終了について (案)</p> <p>第 3 号議案 エステルの建て替え工事について (案)</p> <p>第 4 号議案 エステル建て替えの設計監理業者について (案)</p> <p>第 5 号議案 平成 29 年度 社会福祉施設等施設整備費補助事業 エステルの解体工事指名業者選定 (案)</p> <p>第 6 号議案 平成 29 年度 社会福祉施設等施設整備費補助事業 エステルの建設工事指名業者選定 (案)</p> <p>第 7 号議案 エステル厨房機器購入等の指名業者選定 (案)</p> <p>第 8 号議案 エステル施設積立金の取り崩し (案)</p> <p>第 9 号議案 第 116 回評議員会の開催日及び議案 (案)</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
第 2 2 6 回 平成 29 年 9 月 5 日	<p>第 1 号議案 障害福祉サービス事業所エステルの解体工事業者の決定及び契約の締結 (案)</p> <p>第 2 号議案 障害福祉サービス事業所エステルの厨房機器購入等の請負業者の決定及び契約の締結(案)</p> <p>第 3 号議案 白菊寮 解体工事の業者選定 (案)</p> <p>第 4 号議案 渋川市への嘆願書提出について (案)</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
第 2 2 7 回 平成 29 年 11 月 7 日	<p>第 1 号議案 障害福祉サービス事業所エステルの建設工事業者の決定及び契約の締結について (案)</p> <p>第 2 号議案 めぐみの里 生活介護の定員変更 (旧法における通所事業の終了) (案)</p> <p>第 3 号議案 ぶどうの木 一般相談支援事業開始 (案)</p> <p>第 4 号議案 居宅介護支援事業所の新規設置 (案)</p> <p>第 5 号議案 運営規程の一部変更について (案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶどうの木 (一般相談支援事業) ・カナン (短期入所) <p>第 6 号議案 定款の一部変更 (案)</p> <p>第 7 号議案 諸規定の一部変更 (案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則 ・契約職員給与規程 ・経理規程 <p>第 8 号議案 出納係の変更 (案)</p> <p>第 9 号議案 第 117 回評議員会開催について (案)</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
第 2 2 8 回 平成 29 年 12 月 14 日	<p>第 1 号議案 運営規程の一部変更について (案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エステルの ・ぶどうの木 <p>第 2 号議案 第 117 回評議員会開催について (案)</p>	<p>可決</p> <p>可決</p>

第229回 平成30年1月15日	第1号議案 運営規程の新規制定について(案) ・シオンの丘 第2号議案 諸規程の一部変更について(案) ・経理規程	可決 可決
第230回 平成30年3月2日	第1号議案 平成29年度 会計収支補正予算(案) 第2号議案 平成30年度 統括会計責任者及び資金運用責任者、管理 責任者・施設長、会計責任者、出納係の任 命(案) 第3号議案 平成30年度 事業計画(案) 第4号議案 平成30年度 会計収支予算(案) 第5号議案 めぐみの里短期入所定員変更(案) 第6号議案 運営規程の一部変更(案) ・グレイスホーム(入所、短期入所) ・あけぼのホーム() ・めぐみの里() ・マイーム ・ベテル(就労移行・就労継続B型) ・エステル(就労継続B型・生活介護) ・シャローム(就労継続B型) 第7号議案 諸規定の一部変更(案) ・職員給与規程 ・契約職員就業規則 ・契約職員給与規程 第8号議案 役員変更選任(案) 第9号議案 第118回評議員会開催について(案)	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

4. 評議員会開催状況

開催日	審議内容	審議結果
第115回 平成29年6月9日	第1号議案 平成28年度 会計収支決算(案) 第2号議案 社会福祉充実残高について(案) 第3号議案 定款の一部変更(案) 第4号議案 新理事及び新監事の選定(案) 第5号議案 役員等報酬規程及び報酬について(案)	可決 可決 可決 可決 可決
第116回 平成29年8月21日	第1号議案 あじさいの家の委託事業終了について(案)	可決
第117回 平成29年12月14日	開催定数に満たなかったため開催できず	
第117回 平成30年1月15日	第1号議案 居宅介護支援事業所の新規設置(案) 第2号議案 定款の一部変更について(案)	可決 可決

第118回 平成30年3月17日	第1号議案	平成29年度	会計収支補正予算(案)	可決 可決 可決 可決
	第2号議案	平成30年度	事業計画(案)	
	第3号議案	平成30年度	会計収支予算(案)	
	第4号議案	役員変更選任	(案)	

5. 運営協議会開催状況

開催日	内 容
第1回 平成29年11月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員紹介 ・運営協議会説明 ・意見交換
第2回 平成30年1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 「生活困窮者支援について」 「人材確保について」

6. 内部監査結果

平成29年5月17日(水)に当法人の監事による平成28年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

7. 法人借入金償還状況 ※元金のみ (単位：千円)

借入先	当初借入額	償還済額	当期減	借入残額	備 考
社会福祉・医療事業団	30,000	11,160	1,570	17,270	グレイスホーム 建物改修工事借入金
北群馬信用金庫	36,800	17,100	3,600	16,100	ダビデホーム 建設借入金
群馬銀行	45,000	13,365	4,860	26,775	クロスホーム 建設借入金
群馬銀行	600,000	0	0	600,000	カナン 建設借入金
北群馬信用金庫	500,000	0	0	500,000	
計	1,211,800	41,625	10,030	1,160,145	

8. 職員人事異動状況 (平成29年度中) ※正職員のみ

	採用	退職
人数	9名	11名

9. 職員配置状況（平成30年3月31日現在）

	ベテル	グレイス ホーム	あけぼの ホーム	めぐみの 里	エステル	シャローム	さつき	マイーム
正職員	6	13	22	22	4	3	2	2
契約職員	7	4	16	13	5	5	6	8
嘱託医等	1	1	3	1	1	1	0	0
派遣職員	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	18	41	36	10	9	8	10

	カナン	ゆうかり	ぶどうの木	ポパイ	あじさい の家	オリーブ	合計
正職員	19	4	2	1	1	0	101
契約職員	8	4	1	1	4	2	84
嘱託医等	3	0	0	0	0	0	11
派遣職員	0	0	0	0	0	0	0
合計	30	8	3	2	5	2	196

※兼務職員、兼務嘱託員等は所属施設のみに計上しています。

10. 施設利用者状況（定員及び現員及び利用率）（平成30年3月31日現在）

定員及び現員

	ベテル				グレイス ホーム		あけぼの ホーム		めぐみの里		エステル		シャローム	
	就労移行		就労継続		定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
	定員	現員	定員	現員										
生活介護					30	31	50	50	87	82				
入所支援					30	31	50	50	80	80				
入所														
通所	6	4	34	32							38	34	20	24
短期入所					1		3							
日中一時	*1		*1						4		1			
計	6	4	34	32	31	31	53	50	91	82	39	34	20	24

利用率（％）

生活介護				96.2	96.0	89.6		
入所支援				96.1	96.2	94.5		
通所	51.1		80.6				85.2	112.3
短期入所				25.2	21.6	10.5		
日中一時	0		0				延 108 名	

* ベテルの日中一時の定員は就労移行又は就労継続のどちらか1名のみとなります。

定員及び現員

	さつき		バルナバ ホーム		さくら ホーム		ダビデ ホーム		クロス ホーム		カナン		ゆうかり	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
生活介護														
入所支援														
入所	9	9	5	5	4	4	6	5	7	5	40	39		
通所													20	35
短期入所														
日中一時														
計	9	9	5	5	4	4	6	5	7	5	40	39	20	35

*ゆうかりの現員は、契約者数となります。

利用率 (%)

入所	96.9	100	97.4	79.8	94.0	89.3	
通所							57.0
短期入所						62.8	
日中一時							

	あじさい の家		合 計	
	定員	現員	定員	現員
生活介護				
入所支援				
入所				
通所	10	8		
短期入所				
日中一時				
計				

利用率

通所	76.9
----	------

※生活介護と入所支援の利用重複者、短期入所と日中一時の定員数は合計には加算していません。

11. 補助金による助成物件

助成団体	補助対象施設	助成物件	総 額	助成金額
群馬県	エステル	エステル建物	257,040,000	90,170,000

<総務部>

(1) 庶務・経理係

①概要

年度始めから職員1名が休職、もう1名が退職と欠員が相次ぎ、さらに人員の補充がすぐにはできなかった。そのため他の職員で手分けして日常業務の対応を行ない、重点目標に対する取り組みはほとんど着手できなかった。

②重点目標に対する取り組み

ア 庶務・経理係の体制の見直し

- ・急遽職員2名の欠員がでたことで業務が縦割りとなっている課題がより明確となった。しかし、具体的な取り組みまでいたらなかった。

イ 労務管理に関する知識の習得

- ・現任研修で扱うテーマと担当を決めたが、日常の業務を対応に追われ研修の実施はできなかった。

ウ 業務マニュアルの完成

- ・庶務経理係全体の業務の洗い出しを行ない、目次の検討を職員会議で行なった。その後については、次年度に継続する。

③見学者受け入れ状況

区分/月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体	日数	0	0	2	0	0	1	1	3	0	0	0	1	8
	人数	0	0	40	0	0	24	7	20	0	0	0	1	92
個人	日数	3	5	5	8	5	4	5	10	5	3	6	3	62
	人数	4	8	8	17	6	4	6	15	6	6	11	6	97
総 合計	日数	3	5	7	8	5	5	6	13	5	3	6	4	70
	人数	4	8	48	17	6	28	13	35	6	6	11	7	189

(平成28年度 120日、263人)

④実習生受け入れ状況

区分/月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
社会人・学生 (資格取得)	日数	0	0	30	25	6	11	3	22	5	0	33	38	173
	人数	0	0	2	4	6	1	9	4	1	0	7	6	40
生徒 (施設利用)	日数	0	0	11	20	15	5	0	0	0	12	0	0	63
	人数	0	0	3	4	3	1	0	0	0	3	0	0	14
総合計	日数	0	0	41	45	21	16	3	22	5	12	33	38	236
	人数	0	0	5	8	9	2	9	4	1	3	7	6	54

(平成28年度 262日、57人)

(2) 固定資産管理係

①概要

利用者が安心・安全な生活を送るために、保守点検・環境整備・建物設備の課題を洗い出し、整備を行なった。

②重点目標に対する取り組み

ア建物設備の「中長期計画」を作成する

- ・各施設については、庶務経理係と調整をして作成した。
- ・共有建物については、老朽化がすすんだ建物設備（旧ベテル居住棟、大志義塾等）の洗い出しをした。方向性については平成 30 年度中に決定する。

③主に実施した施設整備

- ・平成 30 年度の創立 50 周年に向けて、「ホール脇の階段舗装工事」を実施した。
- ・冬前に凍結防止対策を萩原興業株式会社に委託した。結果、依頼をしていなかった身障厨房の深夜電力の配管のみが凍結してしまった。
- ・老朽化がすすんでいる施設は修繕が多かった
- ・エステル（あじさいの家）は、建替工事を実施した。併せて白菊寮の解体を行なった。

月	日	実施内容	業者
4	4	浄化槽法第 11 条検査①	県環境検査事業団
	10	身障受水槽を渋川市環境課が確認に来園	渋川市
	21	簡易専用水道定期検査	県環境衛生試験センター
5	10	若杉寮 1 階共同浴室給湯設備交換工事	萩原興業株式会社
	22	ホール脇階段補修工事（ゴム設置）～6/1	瑞穂建設株式会社
6	22	職員研修所ハクビシン対策工事～6/23	津久井工務店、西武消毒
7	5	浄化槽 11 条検査②	県環境検査事業団
	22	電線にかかる枝の伐採	関電工
	26	若杉寮ガス警報機再取付	中島商店
8	18	樹木剪定～8/26,9/11	勢多造園
		※地下重油タンク：目視点検	乙四資格保持者
9	16	めぐみの里キュービクル年次 B 点検・P C B 分析調査	関東電気保安協会
10	12	身障施設水道管破裂（断水）	萩原興業株式会社
11	11	ホール脇階段補修追加工事（蹴上げ、踏面） ～11/12,12/2～3、9～10	瑞穂建設株式会社
	30	浄化槽 11 条検査③	県環境検査事業団
12	6	身障受水槽ボーリング調査	藤田エンジニアリング
	12	アンペアンス油かす除去作業	萩原興業株式会社
1	13	あじさい坂舗装補修	あけぼのホーム職員
2	15	アンペアンス排水管・資料室天井水漏れ補修工事 ～2/19,20	萩原興業株式会社
3	3	身障キュービクル年次 B 点検・P C B 分析調査	関東電気保安協会
	31	受水槽・高架水槽清掃	日化メンテナンス

※浄化槽定期点検は、法令に則り実施。

※浄化槽法第 11 条検査（年 1 回・群馬県環境検査事業団）は、3 回に分けて実施。

①グレイスホーム、めぐみの里、あけぼのホーム、エステル、シャローム

②カナン

③クロスホーム、ダビデホーム、バルナバホーム、さつき、職員研修所、若杉寮、ベテル、MGM、恵の園会議室、地域交流ホーム、あけぼのコミュニティー教会

※簡易専用水道定期検査は、身障施設、めぐみの里、カナンの 3 箇所。

※身障・知的施設のキュービクルは、奇数月に定期検査を実施（関東電気保安協会）

< 人事部 >

(1) 人材育成係

①概要

ここ数年は研修実施もままならず、今年度も理事長研修が実施できなかった。次年度に向けては確実な研修実施に向けた準備をすすめていく。

②重点目標に対する取り組み

ア 人材育成体系（制度）を構築する

- ・「アクションプラン 2020」を活用し課題の洗い出しをするも、具体的な改善を含めた行動化には繋がらなかった。また、育成システムの構成を含めた体系作りは全く着手できずに終わった。

③実施研修

ア 法人内研修

- ・理事長研修会

実施せず

- ・管理職研修会（相談役による）

月	日	内 容
6	16	改めて「理念」を見直し、理念に生きよう
12	18	優劣の基準
3	19	伝統の継承～恵の園創立 50 周年を迎えるにあたって 「守るべきものは守る」を学びましょう～

- ・指導職研修会（相談役による）

月	日	内 容
5	22	慎み深く 思慮深く生きよう
8	21	「自由」に伴う甘美と危険
1	19	伝統の継承～恵の園創立 50 周年を迎えるにあたって 「守るべきものは守る」を学びましょう～

・指導職研修

月	日	内 容	講 師
5	1	新任チーフ研修	山田理事長、福田副部長

・全体研修会

月	日	内 容	担 当 者	備 考
6	15	AED を使用した心肺蘇生法	人材育成係	渋川消防署
11	7	「秋から冬にかけて流行する感染症」 ～恵の園で行なえる予防と対策～	人材育成係	井口医師 (産業医)

・現任研修会

各施設にて年間 11 回実施。

(階層別・相談役による一般職研修会)

月	日	内 容
4	17	新たな人生を切り開くために～絶望を希望に～
7	18	難しい人間関係に於けるあなた自身と役割
10	23	トラディションの継承とアイデンティティの確立
3	20	伝統の継承～恵の園創立 50 周年を迎えるにあたって 「守るべきものは守る」を学びましょう～

(階層別・役職研修会)

月	日	内 容	講 師
2	26	メンタルヘルス研修	山崎友丈氏 ((株)マイン)

・中堅職員研修

実施せず

・新任職員研修会

月	日	内 容	講 師
6	30	フォローアップ研修①	真部人事部長 人材育成係
3	5	フォローアップ研修②	麻田施設長 人材育成係
3	21 ～ 24	平成 30 年度新任職員研修 (29 年度中途 採用含む)	山田相談役 山田理事長 各施設長

・契約職研修

実施せず

イ 法人外研修

- ・施設毎に種別団体の研修、群馬県社会福祉協議会関連の研修に参加した。

ウ 見学研修

- ・各施設にて他法人の施設見学を行なった。

エ 自己啓発の推進

- ・ 図書を購入を進めるも、職員に対する発信ができなかった。

オ 専門医等による研修

- ・ 産業医による感染症に関する研修（全体研修）、そして(株)マイン山崎先生によるストレスマネジメント研修（役職研修）を実施した。

カ 赤城教育セミナー開催準備

- ・ 開催に向けた検討を進めることが出来ずに終わった。

(2) 採用係

①概要

採用者数（契約職員含）は前年比で5名増加した。新チラシを作成し職員紹介を中心に採用者の確保に努めた。しかし、新卒者は前年度より1名減となっており、学校関係への求人活動においては、新たな動きを全くできずに終わった。

②重点目標に対する取り組み

ア 採用者数の増加を目指す

- ・ 採用者数は増加したものの、職員の離職もあり絶対的な職員数の増加には至らなかった。採用者確保に向けた取り組みと共に職員の職場定着への取り組みも必要になるという課題が明確になった。

イ 採用計画を作成する

- ・ 採用計画を作成できず、場当たりの採用になってしまった。

(3) 安全衛生係

①概要

安全で快適な職場づくりを行うため「良い仕事、まずは健康管理から」を年間スローガンとして掲げて安全衛生活動に取り組んだ。数件の軽度の事故は発生したが大事に至ることはなかった。しかし数名のメンタル不調者がでてしまった。

②重点目標に対する取り組み

ア 労働災害の予防を図る

- ・ 労働災害予防のために全職員にアンケートを実施し、それを基に各施設で環境改善や作業方法の改善を図った。また、腰痛や利用者による他害行為に関する問題は完全には改善しておらず、引き続きの課題となった。

イ 労働疾病の予防を図る

- ・ メンタルヘルス対策として外部機関に委託して、ストレスチェックを全職員に実施

し、個々にメンタルヘルスに関する対応法などのアドバイスを得るとともに、不調者に対してのカウンセリング等の対応をしていただく。

(4) 交通安全係

①概要

交通事故防止のためポスターやチラシの掲示、配布を行なうと共に朝礼等で交通安全週間などの情報提供を行なった。

②重点目標に対する取り組み

- ア 安全運転マニュアルを活用し、事故件数の減少を目指す
 - ・安全運転マニュアルの完成には至らなかったが、ホイールロードに関しては運転マニュアルを作成した。
- イ 点検整備マニュアルを作成する
 - ・点検整備マニュアル共も完成できず、目標は達成できなかった。

③業務計画に対する取り組み

- ア 警察署の協力を仰ぎ職員研修会で交通安全講習を実施する
 - ・実施できなかった。
- イ 安全運転協会による運転適性検査を未受講の職員から実施し、各個人の運転適性を認識してもらおうと共に、役職者も情報を共有し、定期的な面談、指導に繋げる
 - ・実施できなかった。
- ウ 定期的な洗車と工具類の点検を実施する
 - ・役職者へ会議等で担当者へ授受するよう申し送る。
- エ ホイールロードの講習受講を計画的に進める。
 - ・2名が受講した。

<その他の係>

(1) 防災・防犯係

①概要

障害入所3施設と各グループホームにおいて、消防法で設置義務となった火通報装置と自動火災報知機とを連動させる工事を行なった。

群馬県災害福祉支援ネットワークの災害派遣福祉チームに2名の職員が登録した。

②重点目標に対する取り組み

ア 防災管理マニュアルを完成させる

- ・BCP（業務継続計画）の策定は、内容等の把握ができていなかったため資料等の情報収集で終わってしまい、策定までには至らなかった。
- ・各施設の避難経路や応援者の動き等の書面を各施設に配布した。しかし、その書面を各施設での防災教育に役立てることまではできなかった。

イ 防犯対策への取り組み及び防犯管理体制の構築を目指す

- ・各施設で防犯対策グッズの購入を検討し、一部施設で防犯対策グッズの購入を行った。
- ・防犯マニュアルの作成に着手したが、完成までに至らなかった。

③防災訓練年間実施結果

月	日	訓練内容	担当施設	備考
4	12	合同訓練（日中）	カナン・ゆうかり	避難、通報、消火訓練
5	31	合同訓練（日中）	あけぼのホーム	避難、通報、消火訓練
6	29	合同訓練（日中）	エステル	避難、通報、消火訓練
7	26	合同訓練（日中）	さつき	避難、通報、消火訓練
8	31	合同訓練（日中）	めぐみの里	避難、通報、消火訓練
9	12	単独訓練（日中）	バルナバホーム	避難、通報訓練
	26	単独訓練（日中）	さくらホーム	避難、通報訓練
	26	合同訓練（日中）	グレイスホーム	避難、通報、消火訓練
10	19	合同訓練（日中）	ベテル	避難、通報訓練、煙訓練
11	9	合同訓練（夜間）	あけぼのホーム	避難、通報、消火訓練
	17	単独訓練（日中）	クロスホーム	避難、通報訓練
	21	単独訓練（日中）	ダビデホーム	避難、通報訓練
12	13	合同訓練（日中）	めぐみの里	避難、通報、消火訓練
1	24	合同訓練（夜間）	さつき	避難、通報、消火訓練
	30	合同訓練（夜間）	グレイスホーム	避難、通報、消火訓練
	31	合同訓練（夜間）	カナン	避難、通報、消火訓練
2	21	単独訓練（夜間）	ダビデ・クロスホーム	避難、通報訓練
	21	地震訓練	あけぼのホーム	避難、出火防止
	23	単独訓練（夜間）	さくら・バルナバホーム	避難、通報訓練
3	13	地震訓練	グレイスホーム	避難、出火防止
	14	単独訓練（日中）	エステル	避難、通報、消火訓練
	17	合同訓練（日中）	ベテル	避難、通報、消火訓練
	21	地震訓練	めぐみの里	避難、出火防止
	28	地震訓練	さつき	避難、出火防止

- ※その他
- ・秋季全国火災予防運動（平成 29 年 11 月 9 日～15 日）
 - ・春季全国火災予防運動（平成 30 年 3 月 1 日～7 日）

(2) 広報係

①概要

フェイスブック開設に向けページを作成。当初はホームページの各施設ニュースを発信することで公開の準備を進めた。4月以降に公開することになった。

45周年のヒストリームービーを作成した。

②重点目標

ア 広報機能の強化

- ・フェイスブック開設へ向けて進めた。インスタグラム等他のSNSは検討中。
- ・アクションプラン2020の行動指針6について「地域に信頼される情報発信」について、その具体的な内容について会議で検討したが、実践には至らなかった。

イ 求人用ムービー、50周年ヒストリームービー作成

- ・求人用ムービーは未完成。職員、利用者等の写真だけでなく、研修体系やキャリアアップ体系等の図表追加の必要性を確認し、作成継続とした。
- ・50周年ヒストリームービーは写真等の収集は行なうが原稿については未完成。

③業務内容

- ・法人パンフレットの改訂および管理
あじさいの家事業終了、エステルが多機能型事業所移行等を加えた改訂のレイアウトを検討した。継続し、改訂準備中。
- ・施設紹介パンフレットの更新および管理
随時行なった
- ・「施設紹介ムービー」の更新と管理
新たな事業所を追加し編集中。
- ・「恵の園からのメッセージ」ムービーの作成と管理
「施設紹介ムービー」と合わせ、新任研修、実習オリエンテーション、見学者来訪時等に活用した。
- ・「ヒストリームービー」の作成と管理
昨年から継続し作成を進め、5月に作業は完了した。
- ・施設紹介パネルの作成と管理
所定の場所で掲示した。パネルの老朽化のため交換準備中。
- ・ホームページの更新および管理
カナン、ゆうかりのページを公開。
- ・恵の園ニュース「一粒の麦」の作成及び管理
秋号の発行が遅れ、新年号として発行した。
毎号2500部印刷、約1200部送付
平成29年 5月10日（春号）発送
平成29年 10月4日（夏号）発送
平成30年 2月8日（新年号）発送
- ・職場啓発ポスターの掲示および管理
二ヶ月に一度ローテーションし、所定の場所に掲示した。

(3) 地域福祉係

①概要

定例的な活動は、榛名女子学園初任者研修の見送りと明保野山車祭りの中止以外は予定通り行ない、実施することができた。明保野班長や、また、明保野会館の代替えとしてカナンを利用してもらうことにより、地域サロンの共催など少しずつ地域との接点が増えてきた。

②重点目標

ア 新たな地域公益事業の取り組みを検討する

- ・地域との接点が増えてきたが、具体的なニーズの把握までには至らなかった。今後は、映画上映などこちらからアプローチをかけて地域のニーズを掘り起こしていきたい。

イ ボランティア募集の広報活動を行なう

- ・具体的な広報活動は行えなかったが、新規に個人・団体ボランティア 13 名の登録があり、来年度も継続して活動していただけるボランティアを発掘できた。

＊来年度継続ボランティア（6 団体）

オカリナ演奏ボランティア・渋川幼稚園年長組・渋川アコーディオンサークル
フラダンスボランティア・懐メロバンドボランティア・あけぼの地域サロン

個人では 2 名の新規ボランティアを受け入れることができたが、共に 3 月で終了となり、どうすれば継続してもらうかが今後の課題となった。

ウ 引き続き、地域における福祉ニーズの情報を収集する

- ・明保野班長や明保野会館の代替え建物としてカナンを利用させていただくことにより、少しずつ地域の状況が見えてきた。

③地域との交流について

- ・利用者と共に地域サービスデー（環境美化）を 6 月と 9 月の年 2 回実施した。
- ・ゆうあいピック記念温水プールに、行事用品としてテントやテーブル、椅子の貸し出しを行なった。
- ・10 月下旬に行われた渋川市社会福祉協議会主催のボランティア祭に模擬店協力を行なった。
- ・新規に団体ボランティアを受け入れて、新たな地域との交流が生まれた。

⑤講師等の派遣について

- ・渋川市立金島中学校と渋川市立南小学校から福祉体験学習の講師の派遣依頼があり、それぞれの学校に職員が行き、車椅子体験の講義を行なった。

⑥その他

- ・渋川ライオンズクラブのふれあいボーリング大会や高崎パイロットクラブコンサート、Jリーグ「ザスパ草津」、BCリーグ「ダイヤモンドペガサス」観戦招待をいただいた。

- ・ 渋川市総合文化祭への作品展示や歌謡部門に参加した。
- ・ 高柳歌謡教室発表会に参加した。
- ・ 豊秋女性会より、花の苗を頂き、各施設のプランター等に植えた。

(4) その他の公益事業

①福祉啓発のために季刊誌「さきがけ」を編集、作成、発行

- ・ 平成 29 年度は、3 回発行した。

②介護職員初任者研修課程の実施

- ・ 予定通り実施したが、定員 20 名のところ、受講者は 4 名であった。ここ数年受講生の欠員が見られ、ポスター掲示箇所を増やしたが、昨年から 9 名減という結果になった。

③少年矯正事業への協力

ア 前橋家庭裁判所からの補導少年の受託受入れ

- ・ 平成 29 年度受託受入れなし。(平成 28 年度 2 人、7 日間)

イ 榛名女子学園からの園生奉仕活動の受け入れ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	0	8	0	8	0	8	0	6	0	6	0	10	46

(平成 28 年度 30 人)

④NPO 法人 渋川広域障害保健事業者協議会に参画（職員の出向、役員としての経営参加等）し、渋川広域地区における障害のある方々の地域生活支援を実施

- ・ 1 名の職員を派遣し、恵の園の相談支援事業所「ぶどうの木」と連携し、計画相談や相談等を行なった。